

豊岡市新文化会館を考える 市民ワークショップ

いい街トヨオカ新聞

新文化会館を考える

市民ワークショップはじめました。

豊岡市の文化創造の拠点である豊岡市民会館および旧出石文化会館は、開館からそれぞれ47年と24年が経過し、施設そのものや設備の老朽化が進み、安全性や快適性の確保が必要な状況となっています。そこで、豊岡市では、新たな文化会館の整備のための基本構想策定を進めています。

このワークショップは、市民のみならず「新たな文化施設に求められる機能」や「やってみたいこと、参加してみたいこと」等、幅広く意見をいただく場として、2018年12月から計3回、豊岡市民会館で開催したものです。

いただいたご意見は、「豊岡市新文化会館整備基本構想」策定にあたって参考とさせていただきます。

今後もワークショップは開催していきます。みなさまもぜひご参加ください。



全
3
回

第1回 市民ワークショップ
日時 2018年12月9日(日)
テーマ「豊岡市のまちじまん・文化じまん」

第2回 市民ワークショップ
日時 2018年12月20日(木)
テーマ「年間スケジュールをつくる」

第3回 市民ワークショップ
日時 2019年1月26日(土)
テーマ「必要な機能や施設を考える」

進行役



(株)シアターワークショップ
伊東正示

このワークショップは、「豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定」を支援する(株)シアターワークショップが行っています。

私たちは、劇場一筋35年！全国で250館を超える劇場・ホールの施設計画や管理運営計画のコンサルティングに取り組んできました。豊岡のみなさんとともにこのプロジェクトを盛り上げていきたいと思っております！

市民ワークショップの情報はこちらから！

豊岡市 市民ワークショップ

検索

<http://www.city.toyooka.lg.jp/kanko/miru/1006587/1006602>

問合せ 豊岡市地域コミュニティ振興部文化振興課
豊岡市民会館(0796-23-0255)
編集 株式会社シアターワークショップ

Workshop 1

豊岡市のまちじまん・文化じまん

第1回市民ワークショップは、事始めとして「豊岡のまちじまん・文化じまん」を考えました。初回の参加者は18名。高校生からベテラン世代まで、幅広い世代の方にお集まりいただきました。

まずは、自己紹介からスタート。参加者のみなさんのワークショップに対する意気込みや新たな文化会館への熱い思いが沢山で、すでに会場は大盛り上がりです。

本日目玉のワークショップ！3チームに分かれて作業を進めます。どのチームも和気あいあい、みなさん思い思いの意見を模造紙に書き、議論を進めていきます。

発表では、みなさんの真剣な様子が印象的でした。どのチームも豊岡の自然や景観、歴史、文化についての意見が多く挙がっていました。特に、街の中心を流れる自然豊かな円山川、コウノトリとの共生、出石や城崎の歴史ある街並みや温泉などの意見にみなさん納得のご様子でした。豊岡のまちも文化も人もさらに好きになれる施設を目指します！



参加者の意見・アイデア一覧

まちじまん	文化じまん	豊岡のまちにあったらいいこと (足りないこと)	豊岡の文化に思うこと (足りないこと)
<自然> ・海・山・川 豊かで美しい自然 ・山陰ジオパーク/玄武洞 ・竹野浜の景観 ・来日山(円山川)の雲海 ・はっきりした四季 ・コウノトリ、鹿 <観光> ・マリンワールド・北前館 ・出石のまちなみ・城崎温泉&まちなみ・焼杉板のまちなみ <食文化> ・カニ/ホンモロコ/農産・海産物 ・特産物を活かした飲食店 <産業> ・土木会社/空港 ・日本一の旅行カバン作り <地域資産> ・地域に点在する伝統ある芸能 ・伝統建築と現代建築の調和 <人> ・人情がある・但馬特有の底力 ・高温多湿で美人が多い <その他> ・豊岡の周辺地域は、土地が安価で、購入しやすく、施設もつくりやすい ・車社会(自家用車)が発達	<特産名産品> ・カバン・出石焼、出石そば ・麦わら細工・やなぎごおり <サークル団体> ・合唱団・吹奏楽団 ・室内合奏団・バレエ・舞踊 ・日高高校演劇部/市民演劇 ・ヒップホップ(ヒポッコ) <拠点> ・永楽館 ・城崎アートインレジデンス <著名人> ・加藤弘之・植村直己 ・大石りく・伊藤清永 ・仲田光成・志賀直哉 ・野茂英雄・能見篤史 ・山田哲人・井上香織 ・斉藤隆夫・片岡愛之助 <文化・史跡> ・出石お城まつり、初牛さん ・たくあん寺(宗鏡寺) ・神社の祭り ・アメノヒボコ(子宝、徹、土木) ・お菓子、但馬守の中嶋神社 ・出石町 ・ひぼこ神話に代表される「受け入れる」姿勢 ・東の斉藤、西の東井と言われるように教育文化に優る	<人材> ・若者 ・病院の医師 ・企業 ・少子高齢化により、町に残る人が少ない ・こどもの数が少ない <公共> ・公共交通 ・大学 ・室内スケート場 <交通> ・交通手段地域内、地域外へ ・電車の本数が少ない ・交通の便が悪い。公共的なバス等をもっと走らせて欲しい <施設全般> ・身体にやさしい施設を ・全天候施設不足 ・市民の交流しやすい場が少ない ・若い人が住みたいと思える施設、設備が少ない <その他> ・ハードに対するソフト ・企業支援 ・市民の発言力 ・産業、就職先 ・周辺地域に対する配慮 ・除雪できる、消雪装置を置く場所	<交流> ・一市五町、互いが知らない ・文化の継承者 ・活動が不透明 <伝統文化> ・伝統文化が理解されにくい時代になりつつある ・学校行事によって、稽古が出来るなくなる子どもたちが多い ・文化会館の中、舞台、楽屋の充実を… ・新しいものを生み出す試み <一体感> ・豊岡全体の文化に対する一体感の欠如 ・各種団体の横の連携がない <文化機会 少> ・文化情報の希薄 ・芸術に触れる機会が少ない ・子どもたちに良い音楽や美術鑑賞が少ない ・人口が少ない為か、優れた芸術家が地元で活躍し難い <施設> ・美術館/図書館/ホールが少ない(会議場も含め) ・ハードに対するメンテナンス



Workshop 2

新しい施設の年間スケジュールを考えよう！

第2回市民ワークショップのテーマは「新しい施設の年間スケジュールを考えよう！」。参加者は18名。高校生や子育て世代のママさんなど、平日にもかかわらず沢山の方にお集まりいただきました。初参加の方も多く、新たな仲間を加えての開催です。

ワークショップでは、かわら版の名前を決めていただくのと同時に、既にある市内のイベントに加えて、開催・参加したいイベントを季節ごとに整理して、新しい施設の年間イベントスケジュールを考えていただきました。みなさんの考えたワクワク、ドキドキが詰まったスケジュール。新施設への期待がますます膨らんでいきますね！

意見としては、音楽や文化活動を中心に、現在の各地域の活動を活かしつつ、豊岡全体を盛り上げるイベント、世代交流が生まれるイベント、文化や生涯学習などの講座提案などが挙がりました。どの案にも共通するのは、年間を通していつでも行事があり、みんなが集える施設、ということ。新しい施設の姿が見えはじめてきました！



参加者の意見・アイデア一覧

春(3月～5月)	夏(6～8月)	秋(9月～11月)	冬(12月～2月)	通年
・3月定期演奏会 ・ミニコンサート ・Springコンサート(様々なジャンル) ・シニアコンサート ・菓子祭り4月 お菓子なコンサート ・小・中・高向け音楽会 ・市民合唱祭 ・子ども映画祭り	・吹奏楽祭・コンクール ・クラシックコンサート ・おんぷの祭典 ・バンド/ダンスフェス ・ライブ/オペラ ・芸術鑑賞会(学生) ・子ども・芸能発表会(舞踊、ダンス、バレエ) ・七夕イベント ・豊岡市民ミュージカル ・市民演劇祭	・音楽コンサート ・プラスフェスタ ・吹奏楽祭 ・朗読劇/演劇 ・市民芸能祭11/3 ・市民音楽祭 ・伝統芸能祭 ・野外コンサート ・但馬合唱隊11/23 ・9月観月会 ・おじいちゃん・おばあちゃんのファッションショー ・カバンのファッションショー	・第九コンサート ・音楽祭 ・オーケストラコンサート ・クリスマスコンサート ・カウントダウンコンサート ・新年演奏会 和・洋楽器 和洋折衷 ・舞台上で聴くコンサート ・アンサンブルコンテスト ・歌舞伎/能/謡/狂言	・バレエ/ミュージカル ・ポップスコンサート ・ロックコンサート ・定期演奏会/発表会 ・オペラ(オペレッタ) ・オーケストラ ・お母さんといっしょ ・映画上演/囲碁大会 ・能楽/狂言/落語 ・花見/サーカス/合唱 ・豊岡流行語大賞
ステージイベント				
・いけ花の展示	・絵・書・花等の展覧会	・全国かな書展/市展 ・美術展/手工芸展	・絵画展(美術展)	展覧会 
	・奏法講習/民謡教室 ・体操教室/工作教室 ・講談教室/お茶会	・地域シンポジウム ・講演会 ・秋のお茶会 煎茶・抹茶	講座・交流 ・練習	・ヨガ教室 ・歌舞伎・書道・ダンス・絵などの文化教室 ・アーティストによるワークショップ講座
	・カバン見本市 ・豊岡温泉ツアー ・各地盆踊り大会	・ハロウィン祭り ・社会福祉フェスタ ・芸能発表会/柳祭 ・フリーマーケット	市場・お祭り	・フリーマーケット ・ハンドメイド市 ・骨董市 ・大きなアート広場



Workshop 3

必要な機能や施設を考えよう！

第3回市民ワークショップのテーマは「必要な機能や施設を考えよう！」。今年度最後の回の参加者は17名。今回も新たな仲間が加わり、新たな交流が生まれました。

今回は、第2回で出された意見のような、開催したいイベント・講座などを行う為に、どの様な機能があればいいのか、どの様な施設であればいいのかを考えていただきました。他地域のホール・施設の事例を参考に、夢はどんどん膨らみます！

話し合いの中で多く挙がっていたのは、大・中・小のホール、リハーサル室が欲しいという意見。自家用車での行動が多い豊岡だからこそ、駐車場が沢山欲しいという意見。様々な世代の人が気軽に立ち寄れるスペースや飲食できるスペースが欲しいという意見などがありました。

みんなが使う施設だからこそ、居心地の良い場所にしたい、という皆さんの熱い思いがこれ以上ないくらい伝わってくる回となりました！



参加者の意見・アイデア一覧

【キャッチコピー】

今日も行こうよ！！コウノトリ文化ホール/コウノトリ芸術文化センター/繋がる！！

楽屋

- ・ホール横に設置
- ・個室5、大部屋(20名程度、男女)2~3、中部屋、小部屋、洗面場、トイレ、シャワールーム
- ・衣装の着付け部屋、化粧部屋
- ・小道具部屋、本部

練習室/リハーサル室

- ・ホール・舞台に近く、同時並行で使える遮音完備の舞台と同サイズのリハーサル室
- ・チューニング部屋
- ・ソロ使用出来る部屋を5~10
- ・吹奏楽団・室内楽団が練習できる部屋の設置

展示室

- ・衣装、楽器、美術本等の展示スペース/大・小ギャラリー
- ・展示室は天井高4m以上を保したオープンスペースで、照明設備も充実させる
- ・天井のレールによって多角的に移動、設置、大きさの可変が出来る展示パネル

ホール

<大ホール>

- ・現在と同程度の1000~1200席
- ・小ホールと舞台を共有、又は併設(大:800席 小:300席)
- ・大きな展示空間にもなる、平土間可動式多機能ホール
- ・袖の広い、フルオーケストラが演奏できるステージ
- ・残響はクラシックに対応で音響の良ホールにし、ステージと客席の音響が同じになるようにする
- ・観客が不在の様子が分からないようなるデザイン

<中ホール>

- ・400~500席/500~600席/600席

<小ホール>

- ・200~300席
- ・200~350名程の可動式ホール
- ・多目的で300~500席
- ・周辺地域独自の催物にも対応した、使いやすい発表の場

<その他>

- ・固定席/可動席の設置
- ・車椅子席と、入口に車椅子用スロープ
- ・ガラス張りの親子用鑑賞ルームの設置
- ・搬入時にスムーズに搬入できるスペース設備の完備

工房/アートファクトリー

- ・アトリエ(工作室)を設置
- ・アート(画・彫刻工芸)ワークショップやイベントの出来る部屋とその準備室(材料置き場)を設置
- ・作品の収蔵小部屋の設置

フリースペース/図書・学習室

- ・勉強、談話、作業のできる無料スペース
- ・芸術関係・CD・DVDが充実した図書室兼、他のホール、美術館等の情報スペース
- ・遊具を備えた、子どもが来たいと思うような場所
- ・自販機コーナーの設置

交通関係

- ・直接建物に入れる、500台以上収容可能な立体駐車場(雪雨対策)
- ・大型バスが駐車可能な広さ
- ・公共交通の便利な場所に設置し、車のない人々も集合しやすいようにしたい
- ・高速道路を活用する

